

令和4年度 定時総会資料

日時：令和4年6月28日（火）

場所：ロイヤルパインズホテル浦和

公益社団法人

さいたま観光国際協会

Saitama Tourism and International Relations Bureau

目次

報告事項

報告第1号 令和3年度事業報告について	1
-------------------------------	---

議案審議

議案第1号 令和3年度決算報告について	11
----------------------------------	----

議案第2号 理事の選任について	24
------------------------------	----

議案第3号 諸規則の一部を改正する規則の制定について	26
---	----

参考資料

令和4年度事業計画	29
令和4年度収支予算書	36

功労者表彰	41
-----------------	----

事業報告

令和3年度 公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

(2) 概況

- ① 設立年月日 平成3年4月6日(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)
- ② 基本財産 2億2,020万円
- ③ 実施事業

内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝
観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供
観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興
国際交流、国際協力に関する多文化共生事業
国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営
その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数(令和4年3月31日現在)

- 会 長 1人
- 副 会 長 2人
- 専務理事 1人
- 常務理事 2人
- 理 事 22人
- 監 事 3人

(2) 理事・監事

- ① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和3年6月23日	常務理事	吉 住 俊 幸	任期満了
令和3年6月23日	常務理事	阿久津 基	就 任
令和3年12月21日	理 事	多 胡 彰	逝 去

② 令和4年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
会 長 (代表理事)	筑 波 伸 夫	令和元年6月24日
副 会 長 (代表理事)	池 田 一 義	令和2年6月22日
副 会 長	中 村 裕 二	平成30年6月26日
専務理事	岡 村 彰	令和2年6月22日
常務理事	中 島 マリ子	令和元年6月24日
常務理事	阿久津 基	令和3年6月23日
理 事	新 井 久 夫	平成28年6月20日
理 事	新 井 康 裕	令和元年6月24日
理 事	泉 名 宣 男	平成26年6月27日
理 事	岩 渕 均	平成25年6月24日
理 事	大 森 好 治	令和元年6月24日
理 事	金 子 義 人	平成26年6月27日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年6月24日
理 事	桑 原 一 男	令和元年6月24日
理 事	小 宮 康一郎	令和元年6月24日
理 事	坂 井 貴 文	令和2年6月22日
理 事	染 谷 典 子	令和元年6月24日
理 事	大 郷 恒 吉	平成29年6月20日
理 事	高 橋 三 男	平成25年6月24日
理 事	千 枝 直 人	令和元年6月24日
理 事	中 村 隆 志	平成27年6月23日
理 事	橋 本 和 久	平成25年6月24日
理 事	濱 野 博 美	平成25年6月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年6月24日
理 事	日 野 俊 彦	平成25年6月24日
理 事	本 田 秋 満	平成25年6月24日
理 事	宮 城 利 久	平成30年6月26日
理 事	山 崎 均	平成29年6月20日
監 事	荒 井 伸 夫	平成25年6月24日
監 事	井 原 實	平成25年6月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年6月24日

3 会員数の状況

種 類	前年度末	当年度末	増 減	備 考
正会員	881	844	(△37)	
うち法人・団体会員	(758)	(743)	(△15)	法人・団体 入会29 退会44
うち個人会員	(123)	(101)	(△22)	個人 入会3 退会25
賛助会員	288	208	(△80)	入会4 退会84

4 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和3年6月4日 (第1回理事会)	(議題) 議案第1号 令和2年度 事業報告について 議案第2号 令和2年度 決算報告について 議案第3号 役員(理事・監事)の選任について 議案第4号 事務所の移転について 議案第5号 功労者表彰の選考について 議案第6号 令和3年度定時総会の開催及び日程について
令和3年6月23日 (第1回臨時理事会)	(議題) 議案第7号 正副会長、専務理事、常務理事の互選について 議案第8号 顧問の選任について
令和4年3月22日 (第2回理事会)	(報告事項) 令和3年度事業執行状況について (議題) 議案第9号 令和4年度 事業計画について 議案第10号 令和4年度 収支予算について 議案第11号 諸規則の一部を改正する規則の制定について

(2) 総会

開催日時	議決事項等
令和3年6月23日 (定時総会)	(報告事項) 令和2年度事業報告 (議題) 議案第1号 令和2年度 決算報告について 議案第2号 事務所の移転について 議案第3号 役員(理事・監事)の選任について

5 職員の状況

令和4年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	事務 局長	課長・ 所長	課長補佐・ 所長補佐・ 主幹	総括主査・ 主査	主任	主事	契約・ 臨時・ 嘱託	合計
事務総括	1							1
総務課			1				1	2
内総務・財務G			1	3				4
会員サービスG			1					1
SSCへ出向		1		2				3
観光事業課		1						1
内イベント事業G			1	1	2	2		6
内MICE推進事業G				2				2
内誘客事業G					1	1	1	3
内販売G			(1)					(1)
国際交流センター			1	1			6	8
観光案内所							12	12
合 計	1	2	5	9	3	3	20	43

※販売G主幹は会員サービスG主幹の兼務

6 事業の実施状況等

【公益目的事業】

(1) 観光等振興事業(公益目的事業 1)

■観光事業（イベント事業・誘客事業）

①観光振興事業

地域観光振興事業・団体等への助成、支援（17 団体）

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

花の名所の維持管理（5 箇所）

観光ボランティア団体との連携（3 団体）

②推奨土産品認定事業

推奨土産品の選定、広報及び販売経路の拡充（50 品目）

（埼玉県物産観光フェア、Pickup 埼玉、市健康マイレージ）

③観光イベント事業

さくら草まつり コロナの影響のため中止

大宮薪能 無観客で実施。テレビ、YouTube で放映。

収録日 5 月 28 日（金） YouTube 視聴回数 5,012 回（3 ヶ月配信）

人形のまち岩槻朝顔市 規模を縮小して実施

7 月 4 日（日）（入込 300 人） 販売数 250 鉢（当日販売 182 鉢、事前予約販売 68 鉢）

浦和まつり前夜祭 コロナの影響のため中止

浦和まつり中山道会場（みこし渡御、音楽パレード・浦和おどり）コロナの影響のため中止

与野夏祭り コロナの影響のため中止

さいたまるしえ in さいたまクリテリウム コロナの影響のため開催見送り

十日市 12 月 10 日（金）熊手市のみ実施（入込 10 万人）

十二日まち 12 月 12 日（日）神社境内、調公園のみ実施（入込 5 万人）

岩槻城址公園桜まつり 3 月 24 日（木）～31 日（木）提灯掲揚のみ（入込 2,950 人）

④観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

さいたま市の東日本連携事業への協力（東日本連携推進会議の運営に関すること）

⑤事務局受託事業

ばらまつり コロナの影響のため中止

大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）コロナの影響のため中止

さいたま市花火大会（大和田、東浦和、岩槻、荒川） 無観客で実施。テレビ埼玉及び YouTube で放映
視聴回数 約 16,100 回

打上日 8 月 19 日（木）

頑張ろう！さいたま市！最大 20%戻ってくるキャンペーン

第 3 弾 6 月 1 日（火）から 30 日（水） 第 4 弾 12 月 1 日（水）から 31 日（金）

■コンベンション事業（MICE 推進事業）

①誘致支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動の推進 コロナの影響により市内と周辺地域のみ

令和 3 年度実績：第 53 回日本 PTA 関東ブロック研究大会埼玉大会 会場さいたま市文化センター
会期 10/16 人数 600 人 支援内容パンフレット・バッグ提供

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供 コロナの影響により多くがオンライン開催または中止
観光マップ 1 件・600 部、観光ガイドブック 1 件・600 部、コンベンション不織布バッグ
1 件・600 枚

②情報収集事業

コンベンションデータ(顧客名簿・開催意向等)の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、効率的にセールス活動が行えるよう管理・更新を実施

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

コロナの影響のためオンライン開催

③経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

令和 2 年度における年間開催件数を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、年間経済波及効果報告書の基礎資料を作成

④コンベンション開催助成金制度の実施

コロナの影響により多くがオンライン開催または中止となったため実施なし

■広報宣伝事業(誘客事業)

①広報宣伝活動

観光プロモーション 観光 PR ポスター第 2 弾作成(4 種類・各 100 部)及び Web ページ公開

観光プロモーション「さいたま歩きが楽しくなる見るガイドブック」Web ページ・動画更新

テレビ、新聞・タウン誌、Web 等の取材対応(76 件)

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどの紹介

大宮盆栽プロモーション(Facebook フォロワー 98,956 人)

秩父・川越観光協会との連携事業 コロナの影響のため 3 市周遊スタンプラリーを中止

埼玉県物産観光協会等と共同によるオンラインセミナーの開催(2 月 2 日)

②インターネットによるシティセールス

日本語公式 Web サイト、多言語公式 Web サイト(Saitama City near Tokyo Visitors Guide)

及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR(1,859,252 ページビュー(R3 4/1~R4 3/31 現在))

「#StayHome さいたま」によるデリバリー・テイクアウト情報などステイホーム時間を充実させる情報の発信

飲食・土産品取り扱い店舗の追加掲載

ツイッター「@SaitamaTIB」や Facebook ページなどソーシャルネットワークを活用した、

観光情報の発信

(フォロワー ツイッター 11,568 人、Facebook 3,402 人、インスタグラム 1,815 人)(3/31 現在)

■観光案内所運営事業

①観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(アトレ浦和内)、岩槻観光案内所(東武岩槻駅自由通路内)の運営。

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

(2) 多文化共生、国際相互理解促進事業(公益目的事業2)

■国際交流事業

①国際推進事業

多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語(毎週火曜日) 9件(前年:12件)、英語(毎週水曜日) 12件(前年:8件)

韓国・朝鮮語(毎週木曜日) 3件(前年:5件)

簡易生活相談(毎週月曜日～木曜日) 112件(前年:74件)

ボランティア(通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント)派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣及び国際交流イベント等へのIECボランティアの募集と活動を行った。ホストファミリーはコロナの影響のため関連事業が中止となり、国際交流基金日本語国際センターに研修生として来日できず海外で日本語教師として活動している方とのオンライン交流会に参加

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	657人(前年:649人) (21言語 延べ792人) (前年:20言語 延べ778人)	通訳9人 (前年:6人) 翻訳81人 (前年:94人)
ホストファミリー	347家庭(前年:347家庭)	オンライン交流会3家庭 (前年:0家庭)
IECボランティア	登録者実数1,090人 (前年:1,021人)	56人 (前年:37人)

外国人への日本語支援事業

在住外国人のための日本語教室をオンライン等で一部開催し、日本語習得の支援や行政・生活情報を提供

参加者総数:3,445人(前年:1,281人)(学習者1,121人 前年:162人、要保育児0人 前年:1人、スタッフ等2,324人 前年:1,118人)

○教室別内訳

《浦和コース》2,550人(学習者866人、要保育児0人、スタッフ等1,684人)

午前保育付コース 1,081人(学習者286人、要保育児0人、スタッフ等795人)

子どもコース 613人(学習者211人、スタッフ等402人)

夜一般コース 856人(学習者369人、スタッフ等487人)

《大宮コース：午前保育付コース》895人(学習者255人、要保育児0人、スタッフ等640人)

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供(多言語生活情報誌「ぷらら」の発行)

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)で発行した。(76号:6月、77号:7月、78号:9月、79号:12月、80号:3月、計11,725部発行)

国際友好フェア

市民及び市内在住外国人等による各種展示・発表等を行う予定だったが、コロナの影響のため中止
外国人による日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、2月5日(土)に「私のふるさとに似ていること、違うこと」をテーマに、感染防止策のため入場者を制限し開催の準備を行なったが、コロナの影響のため中止(出場予定者:10人)

出場予定されていた参加者のスピーチ動画の個別撮影を行い、ホームページで発表内容を紹介

姉妹都市交流事業

- スポーツ少年団派遣事業として、アメリカ合衆国リッチモンド市に野球少年団と、メキシコ合衆国トルーカ市にサッカー少年団を派遣する予定をしていたが、コロナの影響のため中止
交流を継続するためにも、スポーツ少年団関係者を交えたオンラインでの交流会を実施
〈アメリカ合衆国リッチモンド市〉： 9月11日（土）（さいたま市26人、リッチモンド市9人）
： 2月12日（土）（さいたま市11人、リッチモンド市3人）
〈メキシコ合衆国トルーカ市〉： 8月21日（土）（さいたま市15人、トルーカ市20人）
- 市民訪問団派遣事業として、ニュージーランドハミルトン市への市民訪問団の派遣を計画したが、コロナの影響のため中止。代替えとしてハミルトン市民とのオンライン交流を開催するため、12月17日（金）オンラインで情報交換会を実施（さいたま市3人、ハミルトン市9人）
- 3月22日（火）に鄭州市とのオンライン会談に参加

国際ふれあいフェア

コロナの影響のため、例年屋外で実施していた開催内容を代え、オンラインと室内展示の展開で実施
さいたま市の姉妹・友好都市の紹介や過去の開催の様子、ボランティアの活動風景などを動画や展示物で紹介し異文化理解の推進

【国際ふれあいフェアふらす】

オンライン：10月11日（月）配信開始（再生回数1,710回）

室内展示：10月11日（月）～10月15日（金）さいたま市市民活動サポートセンター多目的展示コーナー（来場者225人）

②国際交流事業

国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種国際交流関係の情報を提供（4回発行 6月、9月、12月、3月 各号2,500部発行）

ボランティア養成講座

ボランティアが独自に作成した動画（さいたま市の観光スポット）を視聴した後に、観光案内を行う際に役立つ情報を受講者に提供し、今後のボランティア活動に活かしてもらう養成講座「岩槻・浦和・大宮の見どころを一举に紹介」をオンラインで2回実施（第1回 4月24日（土）参加者46人）（第2回 3月5日（土）参加者32人）。また防災については、さいたま市総合防災訓練に参加（11月6日（土）参加者18人）。

ユース国際ボランティア養成

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成事業として、7月31日（土）「世界を知ろう、ユースミニ講座（インド編）」をオンラインで開催（参加者11人）

次世代育成セミナー

高校・大学生世代を対象に、日本の伝統・文化やさいたま市の魅力を理解するイベント等を通じて、さいたま市における青少年育成のための国際社会への意識の高揚を図るため、6月13日（日）「アマビエちりめん人形を一緒に作りませんか？」をオンラインで開催（参加者12人）

日本語ボランティア養成講座

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座をオフラインで企画したが、コロナの影響のためオンラインでの講座に変更し開催。また、市内日本語教室の募集案内を受講生に提供

（オンライン特別企画）日本語ボランティア養成講座入門編＋（入門編プラス）

日 程：9月18日（土）

参加者：32人（受講生：13人、日本語教室関係者：14人、事業スタッフ：5人）

日本語国際センター研修生との交流

日本語国際センターの研修生と市民との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として、国際交流基金日本語国際センターを会場に交流会を企画したが、コロナの影響のため中止。代替えとして、海外で日本語教師として活動している方とのオンライン交流会に2回参加
(1回目 10月30日(土) 1家庭参加) (2回目 1月29日(土) 2家庭参加)

国際交流サロン交流会(はじめましての会)

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的とした交流会を企画したが、コロナの影響のため中止

国際交流サロン交流会(着付体験・交流会)

日本文化体験として外国人市民を対象に着物の着付け体験会を企画したが、コロナの影響のため中止
代替として、過去の開催の様子の動画を再編集し事業のPRを実施

ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に企画したが、コロナの影響のため中止としたが、国際交流基金日本語国際センターに研修生として来日できず海外で日本語教師として活動している方とのオンライン交流会に2回参加(1回目 10月30日(土) 1家庭参加) (2回目 1月29日(土) 2家庭参加)

異文化交流のための語学講座

多言語を学ぶとともに異文化への理解を深めるため、CIRによるオンラインでの特別講座とパートナーシップ都市である水原市市民とのオンライン語学交流を開催

【CIRによるオンラインでの特別講座-英語】

日 程：3月4日(金) 参加者11人、3月11日(金) 参加者10人

【水原市市民とのオンライン語学交流】

日 程：6月24日(木)・7月15日(木)・8月26日(木)・9月30日(木)・10月28日(木)

参加者(各日)：水原市11人、さいたま市12人

サロン企画事業(ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン)

国際交流サロンスペース(ぷらっとサロン)を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座などを実施

●ミニ講座 オンラインで2回開催(参加者合計:77人、前年:中止)

●おしゃべりサロン オンラインで開催:英語、オフラインで開催:韓国語・スペイン語・中国語・ロシア語、中止:日本語(参加者合計:565人、前年:364人)

●TwitterやHPで、コロナ関連などの情報を在住外国人へ提供

外国人市民への子育て支援

市内在住外国人の子育て支援事業のPR動画をオンラインにて掲載し事業のPRや次回の参加を促した。また、1月13日(木)に市内関連施設と意見交換を実施し、他団体の事業内容や共同事業の可能性などを話し合い今後の事業展開の検討を実施

コムナーレ各施設との連携事業

クリスマス飾りde活動紹介パネル展(12月5日(日)~12月25日(土))に参加し、ボランティア募集の広報を実施

さいたま市市民活動サポートセンターオンラインフェスティバル(2月28日(月)~3月13日(日))に参加し、事業活動の紹介とボランティア募集の広報を実施

③国際協力事業

さいたま市国際NGOネットワーク等、国際協力団体との連携事業

さいたま市国際NGOネットワークと共催で、2月27日(日)「わくわくグローバルフェスタ2022」をオンラインと会場(浦和コミュニティセンター)参加のハイブリッド方式で開催した。SDGsの理念のもと平和で多文化共生社会の実現にいかに関与できるかを考える機会の提供を実施(オンライン参加者:32人、会場参加者:8人)

④さいたま市独自のボランティア活動の協力など東京オリンピックの開催への支援

コロナの影響のため東京2020大会のボランティア活動が制限される中、さいたま市特設サイト

「DISCOVER SAITAMA CITY 2020」を通じて、市内開催競技に出場する姉妹・友好都市の国々の紹介と
応援メッセージを掲載し開催への支援を実施

【収益事業等】

(1)収益事業

■物品販売事業

①観光グッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ売上 1,993,125円（前年1,430,004円）

②その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務

販売手数料収入 268,078円（前年179,672円）

(2)その他

■その他事業

①情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会においてリモートによる意見交換を実施

②会員サービス事業

会員拡大セールス活動（入会案内パンフレット・セールスグッズ作成配布）及び会員フォロー活動
（セールス69件、フォロー36件）

会員向けセミナーの開催（5月21日 氷川神社呉竹荘 参加50名）

③経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

事業の見直しについて検討

④安全衛生管理事業

全職員を対象にしたストレスチェック等による職員の健康管理を行うとともに、新型コロナウイルスの
感染拡大防止のため執務室へのアクリル板の設置やテレワーク、週休日の振替など感染防止を実施

⑤その他

JACK大宮3FからBibli（旧大宮図書館）2Fへの事務所移転を完了（2021年10月）

令和3年度観光案内所案内件数内訳

(単位：件)

		浦 和		さいたま新都心		大 宮		岩 槻		合 計	
市 内 案 内	区分	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
	パンフレット	5,674	19	14,126	6	9,888	5	5,331	16	35,019	46
	小売店	5	4	0	0	0	0	179	6	184	10
	観光施設	394	24	324	10	2,780	31	838	28	4,336	93
	公共施設	361	6	590	8	2,756	3	657	1	4,364	18
	金融機関	98	5	423	0	3,229	1	32	0	3,782	6
	土産品・グッズ	3,337	482	546	8	0	0	89	1	3,972	491
	宿泊施設	78	14	137	2	804	10	29	0	1,048	26
	娯楽施設	48	1	46	0	280	1	4	2	378	4
	交通機関	248	5	358	3	14,108	32	503	6	15,217	46
	飲食店	236	10	170	7	3,298	5	224	2	3,928	24
	イベント	361	122	463	20	1,398	16	481	16	2,703	174
	店舗	900	68	647	1	19,858	16	165	2	21,570	87
	その他	2,401	162	2,075	39	19,244	37	5,286	147	29,006	385
	小計	14,141	922	19,905	104	77,644	157	13,818	227	125,508	1,410
市外案内		87	1	20	4	75	3	27	3	209	11
合計		14,228	923	19,925	108	77,719	160	13,845	230	125,717	1,421
前年度		10,275	642	15,460	78	47,548	128	11,539	275	84,822	1,123
平成30年度		26,773	857	35,521	146	231,591	389	21,350	286	315,235	1,678

(単位：人)

	浦和	さいたま新都心	大 宮	岩 槻	合 計
外国人対応	20	74	1,114	39	1,247
前年度	7	85	784	38	914
平成30年度	121	307	2,653	224	3,305

議案第 1 号 令和 3 年度決算報告について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 39 条の規定により、令和 3 年度決算報告について、次のとおり議決を求める。

令和 4 年 6 月 28 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

決 算 報 告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	0	0	0
普通預金	77,393,447	96,986,135	△ 19,592,688
現金預金合計	77,393,447	96,986,135	△ 19,592,688
(2) その他流動資産			
未収金	412,181	2,285,712	△ 1,873,531
立替金	1,004,704	1,007,910	△ 3,206
前払金	2,526,210	152,084	2,374,126
商品	217,591	191,462	26,129
その他流動資産合計	4,160,686	3,637,168	523,518
流動資産合計	81,554,133	100,623,303	△ 19,069,170
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
出資金	220,200,000	220,200,000	0
基本財産合計	220,200,000	220,200,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	102,283,094	89,280,918	13,002,176
事業振興基金積立資産	7,097,619	7,097,478	141
特定資産合計	109,380,713	96,378,396	13,002,317
(3) その他固定資産			
什器備品	573,693	4	573,689
リース資産	3,272,088	8,229,240	△ 4,957,152
その他固定資産合計	3,845,781	8,229,244	△ 4,383,463
固定資産合計	333,426,494	324,807,640	8,618,854
資産合計	414,980,627	425,430,943	△ 10,450,316
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,911,847	26,112,058	△ 10,200,211
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	298,500	0	298,500
預り金	32,837,645	37,287,110	△ 4,449,465
流動負債合計	49,167,992	63,519,168	△ 14,351,176
2. 固定負債			
退職給付引当金	153,117,413	139,795,069	13,322,344
リース債務	3,272,088	8,229,240	△ 4,957,152
固定負債合計	156,389,501	148,024,309	8,365,192
負債合計	205,557,493	211,543,477	△ 5,985,984
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産合計	124,441,000	124,441,000	0
(うち基本財産への充当額)	(124,441,000)	(124,441,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	84,982,134	89,446,466	△ 4,464,332
(うち特定資産への充当額)	(84,982,134)	(89,446,466)	(△4,464,332)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	209,423,134	213,887,466	△ 4,464,332
負債及び正味財産合計	414,980,627	425,430,943	△ 10,450,316

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
(1) 現金預金					
現金	0	0	0		0
普通預金	54,731,136	5,010,221	17,652,090		77,393,447
現金預金合計	54,731,136	5,010,221	17,652,090	0	77,393,447
(2) その他流動資産					
未収金	402,181	0	10,000		412,181
立替金	451,846	0	552,858		1,004,704
前払金	425,210	143,000	1,958,000		2,526,210
商品	0	217,591	0		217,591
その他流動資産合計	1,279,237	360,591	2,520,858	0	4,160,686
流動資産合計	56,010,373	5,370,812	20,172,948	0	81,554,133
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
出資金	0	0	220,200,000		220,200,000
基本財産合計	0	0	220,200,000	0	220,200,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	61,881,272	0	40,401,822		102,283,094
事業振興基金積立資産	7,097,619	0	0		7,097,619
特定資産合計	68,978,891	0	40,401,822	0	109,380,713
(3) その他固定資産					
什器備品	0	3	573,690		573,693
リース資産	1,979,613	0	1,292,475		3,272,088
その他固定資産合計	1,979,613	3	1,866,165	0	3,845,781
固定資産合計	70,958,504	3	262,467,987	0	333,426,494
資産合計	126,968,877	5,370,815	282,640,935	0	414,980,627
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	12,877,127	289,660	2,745,060		15,911,847
未払法人税等	0	0	120,000		120,000
未払消費税等	155,220	41,790	101,490		298,500
預り金	32,490,883	114,800	231,962		32,837,645
流動負債合計	45,523,230	446,250	3,198,512	0	49,167,992
2. 固定負債					
退職給付引当金	92,636,035	0	60,481,378		153,117,413
リース債務	1,979,613	0	1,292,475		3,272,088
固定負債合計	94,615,648	0	61,773,853	0	156,389,501
負債合計	140,138,878	446,250	64,972,365	0	205,557,493
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	0	0	124,441,000		124,441,000
指定正味財産合計	0	0	124,441,000	0	124,441,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(124,441,000)		(124,441,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	△ 13,170,001	4,924,565	93,227,570	0	84,982,134
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(84,982,134)		(84,982,134)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	△ 13,170,001	4,924,565	217,668,570	0	209,423,134
負債及び正味財産合計	126,968,877	5,370,815	282,640,935	0	414,980,627

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	377,528	378,330	△ 802
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	48,717	53,932	△ 5,215
③ 受取会費			
正会員受取会費	7,920,000	8,109,330	△ 189,330
賛助会員受取会費	483,000	475,000	8,000
④ 事業収益			
事業収益	364,600	140,000	224,600
受託事業収益	1,200,000	0	1,200,000
協賛金収益	4,063,727	266,036	3,797,691
⑤ 販売収益			
売上収益	1,993,125	1,430,004	563,121
販売手数料収益	268,078	179,672	88,406
⑥ 受取補助金等			
国庫補助金収益	0	0	0
受取地方公共団体補助金	314,209,318	286,588,782	27,620,536
市委託料等収益	8,707,000	8,913,000	△ 206,000
受取民間補助金	180,000	0	180,000
⑦ 受取負担金収益			
受取負担金収益	30,128,348	28,898,895	1,229,453
⑧ 寄付金収益			
寄付金収益	300,000	500,000	△ 200,000
⑨ 雑収益			
受取利息	883	938	△ 55
雑収益	139,643	161,170	△ 21,527
経常収益計	370,383,967	336,095,089	34,288,878
(2) 経常費用			
① 事業費	217,145,235	211,868,579	5,276,656
② 管理費	157,703,063	129,595,111	28,107,952
経常費用計	374,848,298	341,463,690	33,384,608
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,464,331	△ 5,368,601	904,270
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,464,331	△ 5,368,601	904,270

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	1	5	△ 4
経常外費用計	1	5	△ 4
当期経常外増減額	△ 1	△ 5	4
当期一般正味財産増減額	△ 4,464,332	△ 5,368,606	904,274
一般正味財産期首残高	89,446,466	94,815,072	△ 5,368,606
一般正味財産期末残高	84,982,134	89,446,466	△ 4,464,332
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	377,528	378,330	△ 802
② 一般正味財産への振替額	△ 377,528	△ 378,330	802
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産期末残高	124,441,000	124,441,000	0
III 正味財産期末残高	209,423,134	213,887,466	△ 4,464,332

注 1 収支決算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

正味財産増減計算書内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	377,528	377,528	0	0	0	0	0	377,528
② 特定資産運用益	0	0	48,717	48,717	0	0	0	0	0	48,717
③ 特定資産受取利息	0	0			0	0	0	0	0	0
④ 受取会費	0	0	3,960,000	3,960,000	0	0	0	3,960,000	0	7,920,000
⑤ 正会員受取会費	0	0	241,500	241,500	0	0	0	241,500	0	483,000
⑥ 賛助会員受取会費	0	0			0	0	0	0	0	0
⑦ 事業収益	364,600	0	0	364,600	0	0	0	0	0	364,600
⑧ 事業収益	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	1,200,000
⑨ 受託事業収益	4,063,727	0	0	4,063,727	0	0	0	0	0	4,063,727
⑩ 協賛金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪ 販売収益	0	0	0	0	1,993,125	0	0	1,993,125	0	1,993,125
⑫ 売上収益	0	0	0	0	268,078	0	0	268,078	0	268,078
⑬ 販売手数料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮ 国庫補助金収益	146,323,056	0	0	173,494,056	0	0	0	133,054,920	0	314,209,318
⑯ 受取地方公共団体補助金	0	27,171,000	0	27,171,000	0	7,660,342	0	7,660,342	0	34,831,342
⑰ 市委託料等収益	0	8,707,000	0	8,707,000	0	0	0	0	0	8,707,000
⑱ 受取民間補助金	180,000	0	0	180,000	0	0	0	0	0	180,000
⑲ 受取負担金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑳ 受取負担金収益	0	0	0	0	0	0	0	30,128,348	0	30,128,348
㉑ 寄付金収益	0	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	300,000
㉒ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
㉓ 受取利息	12,645	85,126	0	97,771	19,800	0	0	883	0	883
㉔ 雑収益	152,144,028	36,263,126	4,627,745	193,034,899	2,281,003	7,660,342	0	167,407,723	0	370,383,967
経常収益計										

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業		国際交流事業		物品販売事業		会員サービス事業				
(2) 経常費用											
① 事業費											
給料手当	79,851,569	31,426,079	0	111,277,648	0	8,695,635	0	8,695,635			119,973,283
臨時雇賃金	12,265,073	2,568,470	0	14,833,543	1,594,271	0	0	1,594,271			16,427,814
福利厚生費	13,768,545	4,752,040	0	18,520,585	260,341	1,429,331	0	1,689,672			20,210,257
退職給付費用	7,327,289	3,330,586	0	10,657,875	0	333,059	0	333,059			10,990,934
報償費	3,218,000	284,200	0	3,502,200	0	0	0	0			3,502,200
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0			0
旅費交通費	47,083	142,622	0	189,705	0	0	0	0			189,705
消耗品費	1,633,287	460,667	0	2,093,954	0	0	0	0			2,093,954
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0			0
印刷製本費	1,157,244	420,759	0	1,578,003	0	0	0	0			1,578,003
光熱水費	385,947	0	0	385,947	0	0	0	0			385,947
通信運搬費	659,726	1,185,030	0	1,844,756	0	0	0	0			1,844,756
広告費	1,171,500	0	0	1,171,500	0	0	0	0			1,171,500
保険料	106,155	169,450	0	275,605	0	0	0	0			275,605
委託料	26,163,007	0	0	26,163,007	0	0	0	0			26,163,007
使用料及び賃借料	1,764,471	935,939	0	2,700,410	5,500	0	0	5,500			2,705,910
支払助成金	2,480,000	0	0	2,480,000	0	0	0	0			2,480,000
支払負担金	82,500	321,280	0	403,780	0	0	0	0			403,780
支払手数料	0	50,017	0	50,017	113,407	0	0	113,407			163,424
修繕費	12,210	0	0	12,210	0	0	0	0			12,210
原材料費	220,000	0	0	220,000	1,547,519	0	0	1,547,519			1,767,519
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0			0
租税公課	20,000	199,404	0	219,404	123,459	0	0	123,459			342,863
雑費	109,129	0	0	109,129	0	0	0	0			109,129
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0			0
リース資産減価償却費	2,726,434	1,239,288	0	3,965,722	0	123,929	0	123,929			4,089,651
什器備品減価償却費	170,684	77,584	0	248,268	7,758	7,758	0	15,516			263,784

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通	小計	
② 管理費									
役員報酬									13,627,091
給料手当									61,263,573
臨時雇賃金									1,541,895
福利厚生費									12,146,689
退職給付費用									2,331,410
旅費交通費									238,735
交際費									217,700
消耗品費									801,132
印刷製本費									520,638
光熱水費									889,028
通信運搬費									1,374,339
保険料									25,660
委託料									21,837,776
使用料及び賃借料									36,092,295
支払負担金									256,000
支払手数料									394,851
修繕費									28,600
消耗什器備品費									0
顧問料									1,940,000
諸会議費									625,384
リース資産減価償却費									867,501
什器備品減価償却費									23,276
租税公課									543,987
雑費									115,503
経常費用計	155,339,853	47,563,415	0	202,903,268	3,652,255	10,589,712	0	14,241,967	374,848,298
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,195,825	△ 11,300,289	4,627,745	△ 9,868,369	△ 1,371,252	△ 2,929,370	0	△ 4,300,622	0
基本財産評価損益等									△ 4,464,331
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,195,825	△ 11,300,289	4,627,745	△ 9,868,369	△ 1,371,252	△ 2,929,370	0	△ 4,300,622	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
退職給付引当金減少額									0
経常外収益計									0
(2) 経常外費用									
什器備品除却損									1
電話加入権除却損									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	1
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△ 3,195,825	△ 11,300,289	4,627,745	△ 9,868,369	△ 1,371,252	△ 2,929,370	0	△ 4,300,622	△ 4,464,332
一般正味財産期首残高			89,446,466	89,446,466				0	89,446,466
一般正味財産期末残高	△ 3,195,825	△ 11,300,289	94,074,211	79,578,097	△ 1,371,252	△ 2,929,370	0	△ 4,300,622	84,982,134
II 指定正味財産増減の部									
① 基本財産運用益									
基本財産受取利息			377,528	377,528			0	0	377,528
② 一般正味財産への振替額									0
一般正味財産への振替額	0	0	△ 377,528	△ 377,528	0	0	0	0	△ 377,528
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高			124,441,000	124,441,000			0	0	124,441,000
指定正味財産期末残高			124,441,000	124,441,000			0	0	124,441,000
III 正味財産期末残高	△ 3,195,825	△ 11,300,289	218,515,211	204,019,097	△ 1,371,252	△ 2,929,370	0	△ 4,300,622	209,423,134

注 Ⅰ 収支決算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)の正味財産増減計算書に基づき作成している。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
実地棚卸による最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①車両運搬具、什器備品
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じて、会計処理を行っている。
リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券（市債）	210,200,000	0	0	210,200,000
普通預金	0	0	0	0
小 計	220,200,000	0	0	220,200,000
特定資産				
退職給付引当資産	89,280,918	13,002,176	0	102,283,094
事業振興基金積立資産	7,097,478	141	0	7,097,619
小 計	96,378,396	13,002,317	0	109,380,713
合 計	316,578,396	13,002,317	0	329,580,713

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	
投資有価証券（市債）	210,200,000	(114,441,000)	(84,982,134)	-
普通預金	0	(0)	(0)	
小 計	220,200,000	(124,441,000)	(84,982,134)	-
特定資産				
退職給付引当資産	102,283,094	(0)	(0)	(102,283,094)
事業振興基金積立資産	7,097,619	(0)	(0)	(0)
小 計	109,380,713	(0)	(0)	(102,283,094)
合 計	329,580,713	(124,441,000)	(84,982,134)	(102,283,094)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,192,495	2,618,802	573,693
リース資産	24,734,160	21,462,072	3,272,088
合 計	27,926,655	24,080,874	3,845,781

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	412,181	0	412,181
前払金	2,526,210	0	2,526,210
立替金	1,004,704	0	1,004,704
合 計	3,943,095	0	3,943,095

7. 保証債務等の偶発債務

特にございません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第13回公募公債	20,200,000	20,492,900	292,900
さいたま市第14回公募公債	200,000,000	200,480,000	480,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	さいたま市	0	314,209,318	314,209,318	0	-
民間補助金	さいたま商工会議所	0	180,000	180,000	0	
合 計		0	314,389,318	314,389,318	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	377,528
合 計	377,528

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございません。

12. 重要な後発事象

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当法人においてもイベントの休止を余儀なくされている。上記の事項は、当法人の翌会計年度の収支の重要な影響を与える可能性があるが、現時点ではその影響を合理的に算定することが困難である。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	139,795,069	13,322,344	0	0	153,117,413

財 産 目 録

令和4年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金	運転資金として	77,393,447
	未収金	売上金等	公益目的事業、収益事業	412,181
	立替金	次年度事業分等	公益目的事業、収益事業、法人会計	1,004,704
	前払金	釣銭等	公益目的事業、収益事業、法人会計	2,526,210
	商品	観光グッズ等	収益事業	217,591
流動資産合計				81,554,133
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	市公募公債	運用益を公益目的事業、管理運営、その他事業の財源としている。	210,200,000
	預金	定期預金	〃	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	運用益を退職引当金の財源としている。	77,643,894
		市公募公債	〃	10,000,000
		普通預金	〃	14,639,200
	事業振興基金積立資産	定期預金	運用益を事業振興基金引当金の財源としている。	7,097,619
その他固定資産	什器備品	カメラ、カメラレンズ等	公益目的事業、管理運営、その他事業に使用している。	573,693
	リース資産	パソコン、複合機等	〃	3,272,088
固定資産合計				333,426,494
資産合計				414,980,627
(流動負債)				
	未払金	社会保険料、事業経費等	公益目的事業、管理運営、その他事業	15,911,847
	未払法人税等	法人税等	管理運営	120,000
	未払消費税等	消費税等	公益目的事業、収益事業、管理運営	298,500
	預り金	市補助金返還、雇用保険等	公益目的事業、収益事業、管理運営、その他事業	32,837,645
流動負債合計				49,167,992
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員24名に対する退職金引当金	153,117,413
	リース債務	パソコン、複合機等	公益目的事業、管理運営、その他事業に使用している。	3,272,088
固定負債合計				156,389,501
負債合計				205,557,493
正味財産				209,423,134

監査報告書

令和4年5月25日

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫 様

公益社団法人さいたま観光国際協会

監事 荒井 伸夫 印

監事 井原 實 印

監事 鈴木 孝 印

私たち監事は、令和3年度公益社団法人さいたま観光国際協会の会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1)会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2)業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2)事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3)理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

議案第 2 号 理事の選任について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 23 条の規定により、理事の選任について、次のとおり議決を求める。

令和 4 年 6 月 28 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

公益社団法人さいたま観光国際協会 役員（理事・監事）名簿

任期：令和３年度の定時総会から令和５年度の定時総会まで

（五十音順）

	役職名	氏名	団体名	役職名	備考
	1	理事	阿久津 基		常勤
	2	〃	新井 久夫	岩槻人形協同組合	理事長 非常勤
※	3	〃	飯澤 展明	独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター	副所長 非常勤
	4	〃	池田 一義	さいたま商工会議所	会頭 非常勤
	5	〃	泉名 宣男	大宮西口共同ビル株式会社	代表取締役 非常勤
	6	〃	岩渕 均	浦和ロータリークラブ	特別理事 非常勤
※	7	〃	大場 喜幸	鉄道博物館	館長 非常勤
	8	〃	大森 好治	協同組合浦和のうなぎを育てる会	代表理事 非常勤
	9	〃	岡村 彰		常勤
	10	〃	金子 義人	浦和交通安全協会	会長 非常勤
	11	〃	久世 晴雅	有限会社久世造花工藝	代表取締役 非常勤
	12	〃	桑原 一男	株式会社クワバラ・パンぷキン	代表取締役会長 非常勤
	13	〃	小宮 康一郎	岩槻観光委員会	委員長 非常勤
※	14	〃	齊藤 政春	株式会社武蔵野銀行 常務執行役員 地域サポート部	部長 非常勤
	15	〃	坂井 貴文	埼玉大学	学長 非常勤
	16	〃	染谷 典子	公益財団法人さいたま市公園緑地協会	評議員 非常勤
	17	〃	大郷 恒吉	さいたま市浦和商店会連合会	会長 非常勤
	18	〃	高橋 三男	株式会社ＴＰＣ高橋犬猫病院	取締役 非常勤
	19	〃	筑波 伸夫	株式会社ＪＲ東日本アイステ이션ズ	代表取締役社長 非常勤
	20	〃	中島 マリ子		常勤
	21	〃	中村 隆志	公益財団法人埼玉県産業文化センター 利用・誘致推進部	部長 非常勤
	22	〃	橋本 和久	大宮ホテル旅館組合	組合長 非常勤
	23	〃	濱野 博美	大宮盆栽協同組合	理事長 非常勤
	24	〃	東角井 真臣	武蔵一宮氷川神社	権宮司 非常勤
	25	〃	日野 俊彦	大宮商店街連合会	会長 非常勤
	26	〃	本田 秋満	一般社団法人さいたまスポーツコミッション	常務理事 非常勤
※	27	〃	緑川 清士	東日本旅客鉄道株式会社 大宮駅	駅長 非常勤
※	28	〃	矢口 敦彦	さいたま市経済局	局長 非常勤
	29	〃	山崎 均	与野商店会連合会	会長 非常勤

	役職名	氏名	団体名	役職名	備考
	1	監事	荒井 伸夫	荒井公認会計士事務所	代表 非常勤
	2	〃	井原 實	株式会社与野フードセンター	取締役名誉会長 非常勤
	3	〃	鈴木 孝	鈴木税務会計事務所	税理士 非常勤

議案第 3 号 諸規則の一部を改正する規則の制定について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 13 条の規定により、諸規則の一部を改正する規則の制定について、次のとおり議決を求める。

令和 4 年 6 月 28 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部を改正する規則

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則（平成 3 年 3 月 26 日規則第 4 号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあっては「改正部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1)改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2)改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3)改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
(賞与) 第 6 条 [略] 2 賞与の額は、賞与基礎額に、6 月に支給する場合においては 1 0 0 分の 1 1 7. 5、1 2 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 0 7. 5</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。	(賞与) 第 6 条 [略] 2 賞与の額は、賞与基礎額に、6 月に支給する場合においては 1 0 0 分の 1 1 7. 5、1 2 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 1 7. 5</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。

附 則（令和 3 年 1 2 月 1 日規則第 1 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、令和 3 年 1 2 月 1 日から施行する。

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部を改正する規則

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則（平成３年３月２６日規則第４号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1)改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2)改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3)改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
(賞与) 第６条　[略] ２　賞与の額は、賞与基礎額に、６月に支給する場合においては１００分の <u>１１２．５</u> 、１２月に支給する場合においては１００分の <u>１１２．５</u> を乗じて得た額に、基準日以前６箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。	(賞与) 第６条　[略] ２　賞与の額は、賞与基礎額に、６月に支給する場合においては１００分の <u>１１７．５</u> 、１２月に支給する場合においては１００分の <u>１０７．５</u> を乗じて得た額に、基準日以前６箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。

附　則（令和４年５月３１日規則第１号）

（施行期日）

- １　この規則は、令和４年６月１日から施行する。

令和4年度

公益社団法人 さいたま観光国際協会

事業計画

I 重点的な取組事項

協会の活動目的である多文化共生社会の実現と、外客誘致による地域経済への波及を目指し積極的に事業を展開する。

- ❶ ウィズコロナに対応する観光イベント事業の実施
- ❷ 観光拠点（Bibli）を活用した情報発信の強化
- ❸ マイクロツーリズム時代に即した、動画・Webでの街歩きコースの紹介
- ❹ 会員企業へのデジタル観光への取組推進
- ❺ ハイブリッドコンベンション開催時のMICE開催支援の強化
- ❻ 外国人支援事業の体制強化と推進や新しい生活様式に即した国際交流事業の実施

II 公益目的事業

1 観光等振興事業（公益目的事業1）

■ 観光事業

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業の一部又は全部を中止する場合があります。

（1）イベント事業（95,600千円）

①主催事業

岩槻城址公園桜まつり

さくら草まつり

大宮薪能

人形のまち岩槻朝顔市

与野夏祭り

浦和まつり（前夜祭・みこし渡御・音楽パレード・浦和おどり）

十日市

十二日まち

さいたまるしえ

②事務局受託事業

ばらまつり

さいたま市花火大会

大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）

(2) MICE誘致事業

①誘致支援事業（1,864千円）

コンベンションキーパーソンへのセールス活動の推進
観光、アトラクション情報等の提供
観光マップ、観光情報誌、コンベンションバッグ等の提供
コンベンション開催時におけるポスターの掲出
コンベンション開催時における土産品販売所・地ビール出店の手配
会場・観光地等の写真貸出
インターネットによるコンベンション情報の発信・拡充
会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充
その他コンサルティング

②情報収集事業（333千円）

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新
観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

③経済波及効果測定事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

④コンベンション開催助成金制度の実施（6,650千円）

コンベンション開催助成金制度の実施
ポストコンベンション開催助成金制度の実施
ハイブリッドコンベンション開催助成金制度の実施
大規模国際コンベンション開催助成金制度の実施

本年度予定される主なコンベンション		
第74回関東甲信越地区中学校長会研究協議会埼玉大会	5月18日～20日	埼玉会館、ホテルブリランテ武蔵野
令和4年度全国福祉高等学校長会第27回総会・研究協議会	8月4日～5日	ソニックシティ
第38回シクロデキストリンシンポジウム	9月10日～11日	ソニックシティ
第74回日本老年医学会関東甲信越地方会	9月24日	ソニックシティ
第65回全国すし連埼玉大会	10月19日～20日	パレスホテル大宮 他
第26回日本遠隔医療学会学術大会	10月28日～29日	埼玉会館

(3) 誘客事業

①誘客・プロモーション活動（13,831千円）

広報誌・Web上での観光プロモーションの実施
マイクロツーリズム時代に即した、動画・Webでの街歩きコースの紹介
テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応
プレスリリースによる情報提供
デリバリー、テイクアウト飲食店支援「#StayHome さいたま」の推進
ご当地グルメなどの紹介
大宮盆栽プロモーション、海外からの訪問受け入れ
インバウンド事業の推進
秩父観光協会・小江戸川越観光協会等との連携事業

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

Bibli イベントホールを活用した観光PRやワークショップ等の実施

②インターネットによるシティセールス（1,457千円）

ホームページ及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR

訪日観光客向け多言語サイトによる誘客と市内周遊の促進

ツイッター、Facebook、Instagram などソーシャルネットワークを活用した、観光情報の発信

③観光振興事業（12,953千円）

デジタル観光活用への会員企業への啓発事業の開催

地域観光振興事業・団体等への助成、支援

花の名所の維持管理及び整理

観光ボランティア団体との連携

さいたま市産業振興ビジョン実現に向けた協力

さいたま市の東日本連携事業への協力・参加

（４）販売事業

推奨土産品の広報、販売経路の拡充

（５）その他

既存の観光イベントの見直し・統廃合の検討

■ 観光案内所運営事業

（１）観光案内所等の管理運営（41,469千円）

大宮駅観光案内所（JR 大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（JR さいたま新都心駅東西自由通路内）、浦和観光案内所（アトレ浦和内）、岩槻観光案内所（東武岩槻駅自由通路内）の運営

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

2 多文化共生、国際相互理解促進事業（公益目的事業2）

■ 国際交流事業

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業の一部又は全部を中止する場合があります。

（1）国際推進事業（18,052 千円）

多言語生活相談

ボランティア（通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント）派遣事業

外国人への日本語支援事業及び日本語支援の総合調整会議等の対応

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供（多言語生活情報誌「ぶらら」の発行）

国際友好フェア・国際ふれあいフェア

外国人による日本語スピーチ大会

姉妹友好都市交流支援

スポーツ少年団派遣・受入

・サッカー少年団派遣（トルーカ市）

・野球少年団派遣（リッチモンド市）

市民訪問団派遣（鄭州市）

オンライン交流など、新たな国際推進事業の実施

HP、twitter 等を利用した発信の強化

（2）国際交流事業（5,465 千円）

国際交流センター情報誌発行

ボランティア養成

ユース国際ボランティア・次世代育成セミナー

日本語国際センター研修生との交流

国際交流会（はじめましての会・着物着付け体験会）

ホームビジット

異文化交流のための語学講座

ぷらっとサロン企画事業（ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン）

外国人市民への子育て支援

コムナーレ各施設との連携事業

海外都市訪問団受入

オンライン交流など、新たな国際交流事業の実施

HP、twitter 等を利用した発信の強化

（3）国際協力事業（143 千円）

さいたま市国際 NGO ネットワーク等、国際協力団体との連携事業

Ⅲ 収益事業等

1 物品販売事業 (1,913 千円)

- (1) 観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務
- (2) その他、自主財源の確立に向けた取組
観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

2 その他

- (1) 情報収集事業
観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集
大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換
- (2) 会員サービス事業
会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成
功労者表彰制度の実施
会員特典内容の拡充・ホームページやイベントでの紹介
会員向けセミナーの開講
- (3) 安全衛生管理事業
職員の安全と健康の確保

令和 4 年度
公益社団法人 さいたま観光国際協会年間予定表

月	イベント関連	会議・セミナー・出展等
4 月	11-17 さくら草まつり' 22 (桜区11-17、浦和区16-17)	
5 月	3-4 花と緑の祭典2022 (国際友好フェア2022) (北区) 3-5 第39回大盆栽まつり (北区) 16-22 ばらまつり2022 (中央区) 27-28 第41回大宮薪能 (大宮区) 28 浦和うなぎまつり (浦和区)	下旬 地域国際化協会連絡協議会総会 31 理事会
6 月		20 JCCB 総会 (東京都) 28 総会
7 月	3 第26回人形のまち岩槻朝顔市 (岩槻区) 16-17 令和 4 年度与野夏祭り (中央区) 17 浦和まつり中山道会場 (第 27 回音楽パレード・ 第 46 回浦和おどり) (浦和区) 大宮夏まつり「第 31 回中山道みやはらまつり」 (北区) 24 浦和まつり中山道会場「第42回みこし渡御」 (浦和区) 24 浦和まつり南浦和会場「浦和よさこい」 (南区) 30 さいたま市花火大会大和田公園会場 (大宮地区) 31 大宮夏まつり「西口夏まつり」 (大宮区)	大都市観光協会連絡協議会総会 (熊本) JCCB/CB 部会 (未定) 下旬 スポーツ少年団派遣 (サッカー／トルーカ) (野球／リッチモンド)
8 月	1 大宮夏まつり「令和 4 年度スパークカーニバル」 (大宮区) 1-2 大宮夏まつり「2022 中山道まつり」 (大宮区) 5-6 大宮夏まつり 「第 26 回東大宮サマーフェスティバル」 (見沼区) 6-7 大宮夏まつり「第 51 回大宮日進七夕まつり」	

	(北区) 11 さいたま市花火大会東浦和大間木公園会場 (浦和地区) 20or27 大宮夏まつり「第50回指扇まつり大会」 (西区) 20 さいたま市花火大会岩槻文化公園会場 (岩槻地区) 21 2022人形のまち岩槻まつり(岩槻区)	
9月	3or10 浦和まつり北浦和会場 「北浦和阿波おどり大会」(浦和区) 中旬 笹久保の古式土俵入(岩槻区)	
10月	上旬 国際ふれあいフェア2022(浦和区) 上旬 大正時代まつり(中央区) 中旬 釣上の古式土俵入(岩槻区)	
11月	3 第58回人形供養祭(岩槻区) 上旬 2022さいたまのしゑ in さいたまクリテリウム(中央区)	大都市観光協会連絡協議会 事務主管者会議 (熊本)
12月	さいたま太鼓エキスパート2022(大宮区) 10 十日市(大宮区) 12 十二日まち(浦和区)	上旬 関東地域国際化協会連絡協議会 JCCB/CB部会(未定)
2021 1月	1-3 与野七福神めぐり(中央区) 3 七福神行列(中央区) 上旬 着物着付け体験会(大宮区)	
2月	上旬 外国人による日本語スピーチ大会(浦和区) 中旬-3/中旬 第18回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり(岩槻区) 下旬 わくわくグローバルフェスタ(浦和区)	
3月	人形のまち岩槻流しびな(岩槻区) 下旬 第46回岩槻城址公園桜まつり(岩槻区)	下旬 理事会

※記載の予定は作成時のものです。変更する場合がありますのでご注意ください。

令和4年度 収支予算書(損益ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	377,000	377,000	0
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	55,000	55,000	0
③ 受取会費			
正会員受取会費	8,000,000	8,500,000	△ 500,000
賛助会員受取会費	600,000	600,000	0
④ 事業収益			
事業収益	10,170,000	4,055,000	6,115,000
受託事業収益	2,630,000	2,100,000	530,000
協賛金収益	8,039,000	5,520,000	2,519,000
⑤ 販売収益			
売上収益	1,584,000	1,531,000	53,000
販売手数料収益	619,000	623,000	△ 4,000
⑥ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	404,035,000	409,574,000	△ 5,539,000
市委託料等収益	13,645,000	13,217,000	428,000
受取民間補助金	180,000	0	180,000
⑦ 受取負担金収益			
受取負担金収益	30,488,000	29,593,000	895,000
⑧ 寄付金収益			
寄付金収益	1,000	1,000	0
⑨ 雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	186,000	174,000	12,000
経常収益計	480,610,000	475,921,000	4,689,000
(2) 経常費用			
① 事業費	359,416,487	304,782,000	54,634,487
② 管理費	144,628,163	183,291,000	△ 38,662,837
経常費用計	504,044,650	488,073,000	15,971,650
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 23,434,650	△ 12,152,000	△ 11,282,650
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 23,434,650	△ 12,152,000	△ 11,282,650

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産取得支出	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 23,434,650	△ 12,152,000	△ 11,282,650
一般正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
一般正味財産期末残高	76,565,350	87,848,000	△ 11,282,650
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	417,860,000	422,791,000	△ 4,931,000
② 受取負担金	0	0	0
③ 受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 417,860,000	△ 422,791,000	4,931,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産期末残高	124,441,000	124,441,000	0
III 正味財産期末残高	201,006,350	212,289,000	△ 11,282,650

注 1 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

令和4年度収支予算書内訳表(損益ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通		物品販売事業	会員サービス事業	共通				
			小計				小計				
Ⅰ 一般正味財産増減の部 1. 経常増減の部 (1) 経常収益	① 基本財産運用利益	0	0	377,000		0	0	0	0		
	② 特定資産運用利益	0	0	55,000		0	0	0	0		
	③ 受取会費	0	0	4,000,000		0	0	0	4,000,000		
	賛助会員受取会費	0	0	300,000		0	0	0	300,000		
	④ 事業収益	8,149,000	2,021,000	0	10,170,000	0	0	0	0		10,170,000
	受託事業収益	2,630,000	0	0	2,630,000	0	0	0	0		2,630,000
	協賛金収益	8,039,000	0	0	8,039,000	0	0	0	0		8,039,000
	⑤ 販売収益	0	0	0	0	1,584,000	0	0	1,584,000	0	1,584,000
	売上収益	0	0	0	0	619,000	0	0	619,000	0	619,000
	販売手数料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥ 受取補助金等	234,831,000	44,820,000	0	279,651,000	0	7,859,000	0	7,859,000	116,525,000	404,035,000
	市委託料等収益	0	13,645,000	0	13,645,000	0	0	0	0	0	13,645,000
	受取民間補助金	180,000	0	0	180,000	0	0	0	0	0	180,000
	⑦ 受取負担金収益	1,515,000	0	0	1,515,000	0	0	0	0	28,973,000	30,488,000
	⑧ 受取負担金収益	0	1,000	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
	⑨ 寄付金収益	0	1,000	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
	雑収益	74,000	40,000	0	114,000	21,000	1,000	0	22,000	50,000	186,000
	経常収益計	255,418,000	60,528,000	4,732,000	320,678,000	2,224,000	7,860,000	0	10,084,000	149,848,000	480,610,000
	(2) 経常費用	① 事業費	86,615,000	30,833,000	0	117,448,000	0	6,687,000	0	6,687,000	
給料手当		16,453,000	5,633,000	0	22,086,000	1,103,000	0	0	1,103,000		23,189,000
臨時雇賃金		14,676,000	4,838,000	0	19,514,000	10,000	1,171,000	0	1,181,000		20,695,000
福利厚生費		5,608,000	1,913,000	0	7,521,000	0	511,000	0	511,000		8,032,000
退職給付費用		10,933,000	3,005,000	0	13,938,000	0	0	0	0		13,938,000
報償費		0	0	0	0	0	0	0	0		0
会議費		1,263,000	958,000	0	2,221,000	0	0	0	0		2,221,000
旅費交通費		4,665,000	3,158,000	0	7,823,000	100,000	0	0	100,000		7,923,000
消耗品費		30,000	1,440,000	0	1,470,000	0	0	0	0		1,470,000
食糧費		6,490,000	751,000	0	7,241,000	0	0	0	0		7,241,000
印刷製本費		387,000	0	0	387,000	0	0	0	0		387,000
光熱水費		1,517,000	1,763,000	0	3,280,000	0	0	0	0		3,280,000
通信運搬費		1,656,000	0	0	1,656,000	0	0	0	0		1,656,000
広告費		1,991,000	346,000	0	2,337,000	0	0	0	0		2,337,000
保険料		97,221,000	6,928,000	0	104,149,000	0	0	0	0		104,149,000
委託料		14,550,000	1,871,000	0	16,421,000	120,000	0	0	120,000		16,541,000
使用料及び賃借料		14,194,000	0	0	14,194,000	0	0	0	0		14,194,000
支払助成金		235,000	109,000	0	344,000	0	0	0	0		344,000
支払負担金		0	109,000	0	109,000	143,000	0	0	143,000		252,000
手数料		374,000	0	0	374,000	0	0	0	0		374,000
雑費		300,000	55,000	0	355,000	0	0	0	0		355,000
修繕費		457,000	0	0	457,000	1,400,000	0	0	1,400,000		1,857,000
原材料費		0	0	0	0	0	0	0	0		0
消耗什器備品費		20,000	671,000	0	691,000	150,000	0	0	150,000		841,000
租税公課		1,928,111	1,514,945	0	3,443,056	137,722	137,722	0	275,444		3,718,500
リース資産減価償却費		148,808	116,921	0	265,729	10,629	10,629	0	21,258		286,987
什器備品減価償却費											

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通		
② 管理費									
役員報酬	281,711,919	66,012,866		347,724,785	3,174,351	8,517,351			13,646,000
給料手当	△ 26,293,919	△ 5,484,866	4,732,000	△ 27,046,785	△ 950,351	△ 657,351			61,951,000
臨時雇賃金									1,591,000
福利厚生費									12,566,000
退職給付費用									5,902,000
報償費									245,000
旅費交通費									500,000
交際費									500,000
消耗品費									858,000
印刷製本費									1,010,000
光熱水費									1,290,000
通信運搬費									1,468,000
保険料									80,000
委託料									2,394,000
使用料及び賃借料									31,626,000
支払手数料									637,000
支払負担金									366,000
修繕料									180,000
消耗什器備品費									1,000,000
顧問料									2,355,000
諸会議費									1,887,000
リース資産減価償却費									1,239,500
什器備品減価償却費									95,663
租税公課									1,125,000
雑費									116,000
経常費用計	281,711,919	66,012,866		347,724,785	3,174,351	8,517,351			504,044,650
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,293,919	△ 5,484,866	4,732,000	△ 27,046,785	△ 950,351	△ 657,351			△ 23,434,650
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計	0	0	0	0	0	0			0
当期経常増減額	△ 26,293,919	△ 5,484,866	4,732,000	△ 27,046,785	△ 950,351	△ 657,351			△ 23,434,650
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0			0
(2) 経常外費用									
固定資産取得支出									0
経常外費用計				0					0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0			0
他会計振替額	26,293,919	5,484,866	△ 28,166,650	3,612,135	950,351	657,351			0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 23,434,650	△ 23,434,650	0	0			△ 23,434,650
一般正味財産期首残高			100,000,000	100,000,000					100,000,000
一般正味財産期末残高	0	0	76,565,350	76,565,350	0	0			76,565,350
II 指定正味財産増減の部									
① 受取補助金等	235,011,000	58,465,000		293,476,000		7,859,000			417,860,000
② 受取負担金				0	0	0			0
③ 受取寄付金				0	0	0			0
一般正味財産への振替額	△ 235,011,000	△ 58,465,000		△ 293,476,000		△ 7,859,000			△ 417,860,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0			0
指定正味財産期首残高			124,441,000	124,441,000					124,441,000
指定正味財産期末残高			124,441,000	124,441,000					124,441,000
III 正味財産期末残高	0	0	201,006,350	201,006,350	0	0			201,006,350

注 1 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)の正味財産増減計算書に基づき作成している。

事業 年度	自	令和 4 年 4 月 1 日	法人コード	A022693
	至	令和 5 年 3 月 31 日	法人名	公益社団法人 さいたま観光国際協会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含み。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入 の予定額	資金調達方法又は取得資 金の使途
		円	

令和4年度 公益社団法人さいたま観光国際協会 功労者表彰

観光・コンベンション

(五十音順・敬称略)

氏名	年齢	住所	略歴	関係 年数	推薦者	功績
1 かとう さぶろう 加藤 三郎	92	岩槻区	H16-H17 さいたま市観光推進委員会委員 H17-H19 さいたま市岩槻区民会議委員長 H19-H23 岩槻区半日観光ルート策定委員長 H20-H21 市民活動推進委員会委員 H24-H26 新都心8号地利用検討委員会副委員長 H30-R2 岩槻人形博物館開設準備会委員 R2-R4 岩槻人形博物館運営委員会委員	19	小宮 彰 (個人会員)	岩槻区観光推進のため「来て見て魅せる城下町岩槻」ガイドブック編集委員長（H23）第2版編集委員等発行に寄与。 半日観光ルート岩槻マップ策定委員長として所要時間・距離等資料取り纏めなど来客誘致につとめ市外各団体へ呼びかけた。NPO法人岩槻人形文化サーターズ代表理事として現在に至るまで、長きにわたり貢献している。 埼玉新聞「悠々一滴」2年間週1回執筆（102回）
2 かねだ みつえ 兼田 美津江	82	西区	H19.4-H21.3 監査 H21.4-H23.3 書記 H23.4-R4.3 副会長	14	大宮東日本民踊研究会 会長 田中 政子	大宮東日本民踊研究会のために監査、書記、副会長として、「中山道まつり」の民踊流しでは、皆さんが気持ちよく参加できて、楽しく聞れるようにCD、カセットテープ等を準備してかけていただいたり、また、色々な所にも参加されて、忙しく働いて頂いた。様々な役割を受けてみると大変なことだと思うところ、嫌な顔もせず黙々とこなし、多岐にわたり貢献している。
3 こばやし ひろゆき 小林 広幸	69	浦和区	H6.4- H16.4-H17.3 班長兼任会計担当 H17.4-R4.3 副組合長兼任班長 R4.4- 副組合長兼任班長・会計担当	28	浦和飲食店組合 組合長 和子 國領	「浦和おどり」のお手伝いの他、北浦和銀座レッズ商店会の役員として、宿場祭で活躍。サッカー関係の事業にも数多くたずさわるなど、発展に寄与している。
4 なかみず よしひろ 中水 義弘	69	見沼区	H11.2- 起業 H29.10.6 米国ワシントン国立樹木園盆栽 アンバサダー任命 R2.1.25 スベインUBE盆栽アンバサダー任命	23	(有) 盆栽ネット ワーク・ジャパン 専務取締役 砂野 牧	海外の盆栽界と日本の盆栽界をつなぐ役割を果たす。来日する外国人対象の盆栽ツアーを英語でガイド。また、日本で盆栽を学びたい外国人の盆栽学校を立ち上げ、さらに盆栽の修行を志す外国人のために、文化ビザを取得し彼らの夢と将来のために尽力。盆栽レストラン大宮を経営しながら、特に外国人のニーズや希望に添ったおもてなしも忘れずにこれからも日本と世界のパイプをつなぐために努力している。

国際交流・国際協力

氏名	年齢	住所	略歴	関係 年数	推薦者	功績
1 あくたがわ うじひこ 芥川 宇治彦	82	見沼区	H24- H27.4- H29.4-R4.3 当協会の正会員 多言語生活情報誌「ぶらら」の発行業 務広報「IECニュース」の発行業務 「にはんごのべや」事業スタッフ	11	(公社) さいたま 観光国際協会 国際交流センター 運営委員会 中島 マリ子	毎年、多言語生活情報誌「ぶらら（5言語 年5回）」を発行する業務に携わり続け、外国人市民に向けた地域・生活情報の提供を行なっている。また、国際交流事業の情報を提供する情報誌の発行や、日本語教室のボランティアスタッフ、外国人日本語スピーチ大会の実行委員を務める等、その活動は広く、さいたま市における多文化共生社会の実現に多大なる貢献をした。